

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

291号 デング熱について

2回シリーズの1回目



漢方の健康堂薬局の店主 長澤昭と申します。

3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

291号からは、「デング熱について」と題して、2回シリーズでお伝えいたします。

291号 2回シリーズの1回目（10月10日発行）

1. デング熱とは

短編（科学のよもやま話）第209号（10月17日発行）

デング熱の蚊はどんなところに生息しているか？

292号 2回シリーズの2回目（10月24日発行）

2. 症状の現れ方



291号

1. デング熱とは

3回シリーズの1回目

1. デング熱とは

デング熱は、熱帯や亜熱帯地域に生息しているヤブ蚊属のネッタイ

シマカやヒトスジシマカによって媒介される感染症です。ヒトからヒトへ直接感染することはありません。原因となるデングウイルスは、4種類の型があり、理論的には4回までかかる可能性があります。デング熱はその病状により、デング熱と重症型のデング出血熱の2つに分けられます。重症型のデング出血熱の場合は、死に至る場合もあります。

◎感染の拡がり

患者が最も多いのはアジアで、中南米、アフリカにも流行地は広がっています。世界で毎年5千万から1億人の患者報告があり、その内50万人が重症だと世界保健機構（WHO）は報告しています。

感染後2～14日の潜伏期間（蚊に刺されてから症状が出るまでの期間）があり、突然38度を超える発熱や頭痛、筋肉痛、関節痛などの初期症状現れることが多い。高熱が数日続いた後、体幹部に発疹が現れます。解熱剤を服用して休んでいれば多くの場合1週間程度で回復します。

ただし、発熱がおさまった頃に、歯肉出血や皮下出血などの出血傾向や、顔や手足にむくみが現れた場合、死の危険性のある重症型へと移行するケースもあります。また、2度目の感染時に重症になりやすいとも言われています。早期に適切な処置を受ければ死亡率は1%以下ですが、処置しなければ数十%にもなるため、デング熱が疑われる場合は早期に治療を受けることが重要です。

以上、今週の内容でした。

—[プロフィール]—
-----[プロフィール]—

■長澤 昭（ながさわ あきら） 1952年 静岡県生まれ
1980年に薬局を創業。
2000年、毎日新聞「アミューズ」に、「漢方薬に詳しい薬局」として、
全国わずか35店のうちの1店として取り上げられる。
2001年、約300の病名・症状別の「病気別漢方選薬システム」を完
成させる。
現在は、当店HPにて公開中

□登録／解除の方法

↓ ↓ ↓

<http://kenkodo.web.infoseek.co.jp/melmaga.html>

（E-Magazine からご購入の方はこのメルマガの一番下に解除フォーム有り）

□注意・免責事項

◎一般の方向けの内容なので、厳密な医学用語は使用していません。医学
的な専門性から考えた場合、妥当でない表現があると思いますが、なるべく
平易な表現を使用するようにしてあります。

◎個別の健康相談を行うものではありません。

◎体の状態は個人によって異なります。現在治療中の方はかかりつけ
の主治医と相談をしてください。

◎ご自分の責任の範囲でご利用ください。記載内容を利用し生じた結果に
ついて、当方では責任がとれませんのでご了承ください。

=====

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

発行者：漢方の健康堂薬局

発行責任者：長澤昭

<http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/>

E-mail: mailto:kenkodo@oregano.ocn.ne.jp

「薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報」の本文は、著作権により保護されています。

ただ、個人的にお友達に転送することは自由です。その場合、このメルマガの一部だけを転送するのではなくて、全文を転送していただけると、うれしいです。よろしければ、お知り合いの知人、友人に教えてあげてくださいね（商用の場合を除く）。

転載の場合はご一報ください。

=====